



# Charlotte de Rothschild charity concert



(東北 福島大震災支援 シャーロット・ドゥ・ロスチャイルド音楽芸術特使 チャリティ コンサート)

## 記

日時 : 平成23年9月14日 水曜日

受付開始 17:00～  
開場開始 17:30～  
コンサート 18:00～18:50  
休憩 18:50～19:00  
講演会 19:00～19:50

(国連職員・日本ガールスカウト連盟 副会長 岡智子女史)  
「矢地昌平・山田尚弘・一般社団法人 プロジェクト結(理事 山本啓一郎)」

場所 : 学習院大学百周年記念会館  
(JR目白駅前 学習院大学内)

入場料 : 無料(B席)

※ 当日のドレスコードは、基本平服ですが、学生の方は、フリースタイルで結構です。  
場内のフラッシュを使用した写真撮影、録画、録音は、ご遠慮ください。

総括実行委員長 粕谷泰央 元国務大臣 自民党都連最高顧問  
かすや茂事務所 代表  
名誉運営委員長英国特別顧問 北 広次郎

※ シャーロット・ドゥ・ロスチャイルド音楽芸術特使についての連絡先は、  
かすや茂事務所、粕谷泰央までお願いします。

連絡先 かすや茂事務所 (電話) 03-3377-1001  
(FAX) 03-3377-8811  
(携帯) 090-3208-3929  
(e-mail) yasuo@Kasuya-office.org



最新耳より情報 明治維新から英国王室とのロイヤル外交 文化と外交の絆を更に進化発展！

東北・福島大震災支援シャーロット・ドゥ・ロスチャイルド音楽芸術特使チャリティーコンサート

学習院大学シャーロット・ドゥ・ロスチャイルド(CDR)東北・福島頑張れ・10大学学生合同支援チャリティー・コンサート開催の件

待たされて居りました、学習院大学百周年記念館の使用がやっと院長さん施設部長さんの許可がおりてきました。シャーロット・ドゥ・ロスチャイルド音楽芸術特使は9月14日成田発の当初から決まっていた英国への帰国便をこの為にわざわざキャンセルして、翌日の便に切り替えて下さいましたことに感謝致します。最後の締め括りがこの9月14日の夕刻の特別コンサート講演・併合イベントであります。

CDR特使は、翌日は早朝、成田を出発しなくては成らないので、CDR特使の19:50コンサートの部終了次第、荷物をまとめてホテルに帰らねばなりませんという事で、失礼しますがその後は日本語でのスライドショーの講演を続行して下さいと申しています。

シャーロット・ドゥ・ロスチャイルド音楽芸術特使は、過去に多くの個別の大学でコンサートを行って参りましたが、この際は東北・福島支援のNPO ボランティア活動へ暖かいお気持ちをこめて、日本国復興を目指して、あらゆる分野で日本国の今後を背負って立って戴かねばならない次世代の学生の皆様に向けての、合同大学生コンサートを企画提案し、シャルロット・ロスチャイルドさんにもその主旨に御同意を得られました事に感謝いたします。シャーロット・ドゥ・ロスチャイルド音楽芸術特使が合同大学生向けコンサートを開催するのは、今回が初めてのケースであり、画期的な事柄であります。

会場は 学習院大学百周年記念会館であります。

学習院百年記念会館の資料を次のサイトをご参照下さい。

<http://www.gakushuin.ac.jp/ad/kanri/kaikan.html>

そして更に、この主旨に御賛同賜りこの記念館の場所を気持ちよく御提供下さいました、学習院大学院院長様、施設部の皆様にも深く感謝致します。更に学習院大学に御推薦賜りました皇室の関係の方にも深く感謝申上げる次第です。9月14日のコンサートにおきましては、3・11の未曾有の大震災発生以後、東北・福島支援を毎週末東京から救援物資を現地に届けたり、炊き出しにいたり、親を失った子供たちに対する支援をしてくださっているボランティア活動をなされてる方々の活動を学生の皆様に御紹介したいと存じます。普段こういうニュースはマスコミでも取り上げておりませんものばかりであります。

この中には、今回の震災で家を失った獣医さんが、このボランティア活動に終始加わっておられ福島原発事故で県外急避難余儀なくされた為に、やむなく取り残された怯える愛犬猫ペットや牛豚など家畜の面倒を見ておられる方の御活動を御紹介したり、現地の幼児達に絵本を寄贈しその朗読会を開いたり、震災孤児達にバイオリンを寄贈し、無償でバイオリン教室を定期的に行っているバイオリニストなどの活動の事をシャーロット・ドゥ・ロスチャイルドさんにこのコンサートの場で同時に御紹介したい事を説明したところ、その主旨を御理解されたシャーロットさんは、実は9月14日が成田発で帰英する日に決められていたのですが、そのフライトを自らキャンセルして、翌日のフライトに切り替えて下さいました。



講演の前半を担当するのは、3・11以来 長期間ボランティアで東北頑張れNPO細石巖会代表で支援活動を継続しておられる玄叢会計事務所税理士矢地昌平氏・山田尚弘が「誰でも出来る東北ボランティア」と題して講演して下さいます。中間に ピアノ・バイオリン演奏があります。

後半は国連職員・日本ガールスカウト連盟副会長 岡 智子様にご登場いただき、世界での国連の活動体験をスライドショーで映して御話し御紹介をして戴きます。この会館は二階まで入れて1100席ありますので、皆様の御来場をお待ちしております。お申込みになられた方は必ず当日御来場くださるようにお願い申し上げます。又当日、やむにやまれぬ突発的事情で御参加出来ない場合は、必ずメールで御知らせ下さい。

[norionplanets@gmail.com](mailto:norionplanets@gmail.com) と コピーCC:"Yasuo Kasuya" <[yasuo@kasuya-office.org](mailto:yasuo@kasuya-office.org)>へお知らせ下さい。又御来場御申込みもこのメールアドレスに御人数と御来場者御名前を打ちこんでください。できるだけ団体にまとめたの御申し込みを歓迎致します。

締め切りは9月9日(金)です。その御名前を当日会場入口前の受付で申込者名簿とお名前を確認して御入場頂けます。この受付に前もってメールで御申し込みなされた名簿中にある方は、入場無料で会場に御通し致します。御申込みの遅れた方は、一階二階会場の後方立ち見になるかも知れませんので御了承ください。

尚、シャーロット・ド・ロスチャイルドさんに関しましては 北広次郎とパソコンで打ち込んで、インターネット・エッセイ集「ミスターヨーロッパだより」第2・3部を御参照下さい。

また「シャーロット・ド・ロスチャイルド」をそのままの名前のカナ文字をパソコンで打ち込み検索して下さい。英文で見たい方は、charlottederorhschild で検索出来ます。

(講演会司会者:岡本真理子記)

-----

東北・福島大震災支援シャーロット・ド・ロスチャイルドチャリティーコンサート 及び 学習院大学シャーロット・ド・ロスチャイルド(CDR)10 大学合同東北・福島頑張れ支援チャリティーコンサート講演準備実行委員会

総括実行委員長:粕谷泰央、名誉運営委員長英国特別顧問:北 広次郎

## 14<sup>th</sup> September University Concert

1) Charlotte de Rothschild – soprano, Mr Muto – piano

すみれ	W.A.モーツァルト
Les Roses d'Ispahan	G.フォーレ
野ばら	F.シューベルト
Where lilac blows 蝶々	マチルダ・ド・ロスチャイルド
「恋とはどんなものかしら」(フィガロの結婚)	W.A.モーツァルト
「サマータイム」(ポーギーとベス)	G. ガーシュウィン

2) Charlotte de Rothschild – soprano, Saitoh Ange Tamamo – violin, Mr Muto - piano

Elizabeth and the pearl	arr. Tanaka
-------------------------	-------------

3) 齋藤・アンジュ・玉藻 – violin, Mr Muto - piano 10 mins

4) Charlotte de Rothschild – soprano, Mr Muto – piano

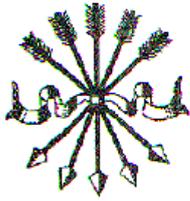
夏の思い出 宵待ち草	中田 喜直 多 忠亮
からたちの花 松島音頭	山田 耕筈
赤とんぼ あわて床屋	山田 耕筈 山田 耕筈(岩河 智子 編曲)

5) 齋藤・アンジュ・玉藻とともに

Vilia の歌	レハール
----------	------

---

当日は、平服にてお気軽にお越しください。場内の録音、写真撮影は禁止されています。



# CHARLOTTE de ROTHSCHILD

## soprano

[www.charlottederothschild.com](http://www.charlottederothschild.com)



### ソプラノ独奏ノ

シャルロツテ・ドウ・ロスチャイルド

Charlotte de Rothschild studied

オーストリアザルツブルグ音楽院卒

ロンドン王立音楽院卒 ソプラノ歌手

オーストリアザルツブルグ音楽院卒

ロスチャイルド家と欧米音楽家関係史研究第一人者

シャーロット・ド・ロスチャイルドは、ザルツブルグ音楽学校、英国王立音楽大学を卒業後、同大学院を修了した。これまでに世界各地で音楽活動を行い、特にヨーロッパにおけるオラトリオのスペシャリストと知られ、幅広いレパートリーに定評がある。彼女は、独特のテーマを持ち、リサイタル等ではそのテーマに沿ってプログラムを組んでいくという個性的な方法で曲にアプローチしている。その中でもよく知られているプログラム「ファミリーコネクション」は、過去200年の間、ロスチャイルド家の友人、先生、また家族であった作曲家たちによる数々の歌曲をまとめたもので、ヨーロッパのみならずメキシコや日本でも披露されている。

シャーロットは又、ハープの伴奏で歌うスペシャリストとしても知られ、ドイツ、フランス、デンマーク、日本等で、ハープとのリサイタルを行っている。ここ数十年に渡る、日本に於ける定期的な公演の成功を機に、CD「日本歌曲集—日本の旅路—」を発売し、「日本人以上に日本人の心を、細やかな情感と感性で歌う歌手」として高く評価されている。このCDは、完全に日本の歌だけで、すべて日本語で歌われており、外国人としてこの手のCDを完成させたのは彼女が初めてである。

2001年には、英国で開催された1年間に渡るイベント「ジャパン2001」の期間中、英国各地、ケンブリッジ、カンタベリー、ロンドンのセント・ジョンズ・スミス・スクエア等で、日本の歌曲の美しさを披露し、フィナーレにはロンドンのバービカンセンターに於いて、イギリス室内管弦楽団をバックに、山田耕作の歌を華麗に歌い上げた。同年、NHKテレビでは「ロスチャイルドの情熱」と題した90分のドキュメンタリー番組が放映された。近年では、日本、アメリカ、チェコ、韓国などで公演を重ねている。また本年11月には、インドのムンバイにある国立舞台芸術センターでの公演に招かれている。来年には、1月にギリシャのアテネにてコンサート、そして南北アメリカでのツアーが予定されており、2012年にはニュージーランドとオーストラリアでのツアーが企画されている。



## 英国ロスチャイルド家と日本国の関係

ロスチャイルド家は全世界の金融界に？然として君臨する家系で、ナポレオン時代からヨーロッパ各地の財政にかかわり、スエズ運河建設、イスラエル建国などの資金のほとんどを提供。またオーストリアのハプスブルク家より男爵の称号を授与された貴族でもあり、日本とのつながりも強く、新橋—横浜間の鉄道開通、日露戦争の外債の引き受け、関東大震災の復興資金の提供など歴史的に深い関係を持っています。

彼女の父親のエドモンド・ロスチャイルド氏は日本国より勲一等瑞宝章を授与されています。彼女は、そのロスチャイルド家の宗家であるロンドンのロスチャイルド家の直系の令嬢(プリンセス)であります。ロスチャイルド家は音楽と極めてかかわりが強く、メンデルスゾーン、ショパン、リスト、ロッシェニ、フランクなどのパトロンを努め、彼らを大きく飛躍させました。ショパンの弟子であったマチルダ・ロスチャイルドは、美しい歌曲の作曲家として有名です。彼女は、ザルツブルグ音楽学校、英国王立音楽院を卒業、現在、世界各国にて音楽活動を行うほか、ロスチャイルド家の家憲によって、(仕事以外に必ず世のために尽くす)、民間判事も勤めています。オラトリオ、レクイエムなどのジャンルのほか、歌曲もレパートリーを持ち、CDもいくつか出版しています。

HP: [www.charlottederothschild.com](http://www.charlottederothschild.com)